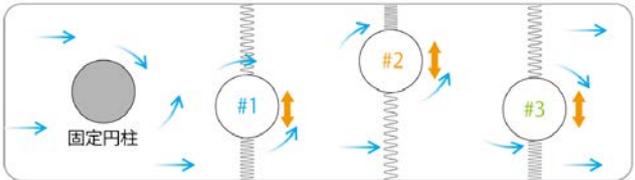
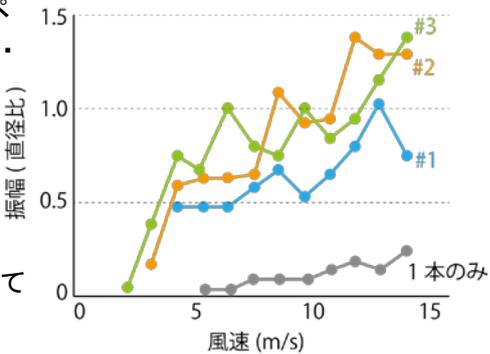
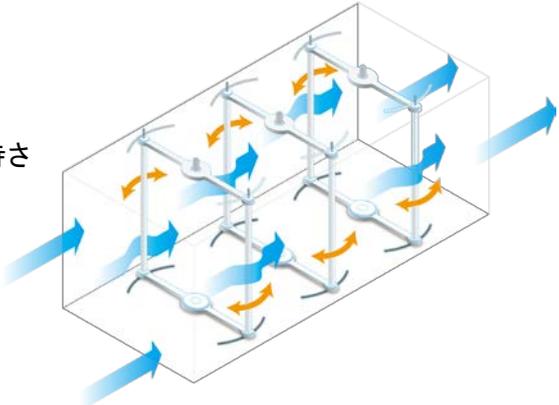


【大学シーズ情報】 ※図や表などを入れてわかりやすく記載してください。

大学名 日本大学

研究タイトル	振動を利用した風力発電システム
研究者の所属学部、学科、役職、氏名	理工学部 土木工学科 野村 卓史 教授
技術のポイント	弱い風でも、風向が変化しても安定発電が可能
現在の研究開発段階	A 基礎研究段階 ・ B 試作段階 ・ C 実用化段階
技術の紹介	<p>システム内に設置された振動子が、風により発生した乱流（ウェイクギャロッピング）で振動する事を利用した起電システム。</p> 
研究の背景	<p>風力発電は、風を受けて回転する構造（プロペラ）が一般的であるが、低周波騒音、バード・ストライク等のデメリットを抱えている。また強風の少ない日本では、十分な電力を発生できない課題もある。また地下鉄のダクトなど、風向が反転する場所では利用できなかった。このような課題を解決するため、低風速でも起電可能なシステムを研究してきた。</p> 
従来技術より優れている点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低風速でも起電可能 ・ 風向が変化しても起電可能 ・ 騒音が低いと期待される ・ 鳥などの衝突事故が少ないと期待される。 

<p>技術の用途イメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外での大規模発電システム ・地下鉄ダクト等での小規模発電 ・海水の満干を利用した発電システム 	
<p>中小企業への期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実用化に向けた共同研究 ・実用化研究等の公的助成への共同申請 ・商品化に向けた課題解決、商品化への賛同 	
<p>知財情報 (ある場合のみ記載 ください)</p>	<p>【特許番号】 特願 2012-142903 【発明の名称】 複数の振動子を備えたエネルギー変換装置およびその製造方法 【特許権者】 日本大学 【発明者】 野村 卓史</p>	